

保健室便り

「学校保健委員会を開催しました」
海外で育てる歯と口の健康 ～当地で実践する予防歯科～

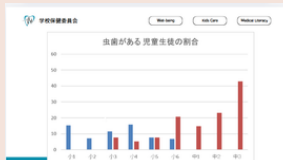
1. 海外だからこそ「知ること」が大切

- ・日本とインドネシアでは医療制度や歯科用品が異なります
- ・家庭に合った方法を選択するための情報を知ることが大切です



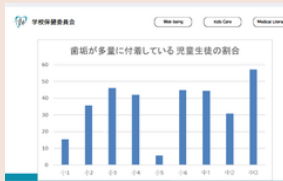
学校保健委員会とは

- ・家庭、学校、地域が子ども達の健康について一緒に考え情報を共有する場です
- ・今回は11名の保護者様にご参加いただきました



2. CJSの歯科検診からみえたこと

- ・虫歯は学年が上がるにつれ増加
- ・歯垢の付着、歯肉に課題がある児童生徒も一定数いました
- ・虫歯がなくても、歯垢が残る状態が続くと将来的に虫歯のリスクが高まります



3. 保護者の皆様の家庭での工夫

- ・小学校低学年：仕上げ磨き
- ・高学年以降：声かけ、セルフケアを効果的にするための歯みがき製品の工夫



4. 歯医者からのアドバイス

- ・定期歯科検診は6ヶ月毎に、歯の状態に応じて歯医者さんと相談を
- ・当地でも日本と同様の予防歯科サービスを受けることが可能です



今回の学校保健委員会を通じて

不安な時ほど、自分にとって安心できる情報を集めやすくなることがあります。

一つの情報だけで判断せず、医療機関や公的機関などで信頼できる情報も参考にしながら、それぞれのご家庭に合った方法を選んでいただけたらと思います。

海外生活だからこそ、ご家庭に合った予防やケアを無理なく続けることが、お子さんの歯と口の健康、そして健やかな成長につながることを願っています。